

21世紀水倶楽部：

平成17年度通常総会を開催
今年度は4回のセミナーを開催へ

水関連環境事業の支援活動を続けているNPO法人21世紀水倶楽部は6月14日、東京・豊島区の(財)下水道新技術推進機構内において平成17年度通常総会を開催した。



大迫理事長

21世紀水倶楽部は16年度、「下水道と家庭用品を考える」「中越地震下水道被害報告会」「ITの活用法」の3回のセミナーのほか、多摩川河口干潟現地見学会を開催、さらにホームページ上に小都市向けの支援窓口として「何でも相談室」を設置するなどの活動を展開してきたが、総会ではそれらの事業報告等を行った後、17年度事業計画として「下水道におけるIT活用」「水資源のあり方」「災害時のトイレについて」「都市排水と病原性微生物」の4回のセミナー開催、環境報告書作成支援、ホームページの充実、小学生向け出前講座などに取り組むことを決めた。役員改選も行われ、大迫理事長以下10名の理事が再任。また、渡辺和紀氏の退任に伴い、新たに藤本莞二氏が理事に選任された。